

所 報

(2003.5.1 ~ 6.30)

刊行物

- 『日本労働年鑑』第73集(2003年版,旬報社)
- 『大原社会問題研究所雑誌』535号(2003年6月)
- 『大原社会問題研究所雑誌』536号(2003年7月)

図書受入(5月)

	和書	洋書	計
購入	64	16	80
受贈	128	8	136
合計	192	24	216

図書受入(6月)

	和書	洋書	計
購入	91	7	98
受贈	77	42	119
合計	168	49	217

閲覧サービス(5月)

閲覧

開館日数 20日
 閲覧人員 21名
 貸出図書 92冊

コピーサービス

学外 17件 2137枚
 学内 19件 375枚

閲覧サービス(6月)

閲覧

開館日数 25日
 閲覧人員 44名
 貸出図書 152冊

コピーサービス

学外 24件 2302枚
 学内 15件 614枚

日 誌

- 5月
- 2日 レクリエーションデー(休業)
- 7日 oisr会議
- 10日 現代労使関係・労働組合研究会
- 13日 牛山敬二氏より棚橋小虎関係資料段ボール4箱受贈
- 14日 重複・不要図書のリユース,労働資料協議会加盟各機関に送る
労働年鑑編集委員会
- 16日 社会政策学会幹事会(五十嵐仁)
- 17~18日 社会政策学会第106回大会(於:一橋大,五十嵐仁・鈴木玲・早川征一郎)
- 19日 防災説明会
- 20日 リサイクル図書を研究員にリユース
- 21日 運営委員会
議題 諸報告
今年度の研究所活動の方針
嘱託研究員の承認
2002年度事業報告
2002年度決算
2003年度予算
研究所創立85周年記念プロジェクトについて
他の研究機関との共同のイベントについて
- 多摩キャンパス歓送迎会
- 22日 洋書データベースに向坂文庫9,459件を追加(計45,140件)
- 26日 大原デジタルライブラリーに「木原文書インデックス」を追加
- 27日 事務会議
- 28日 研究員会議
月例研究会
報告者 野村一夫
テーマ 「インフォアーツの思想」
- 30日 多摩スポーツ・フェスティバル(休講)
OISR.ORG英語版にポスター展“Industrial Safety, Public Health, Cleanliness: Industrial Welfare Association (Sangyo Fukuri Kyokai) Posters”を追加
- 31日 加齢過程における福祉研究会
報告者 野川和美氏(東京都福祉局高齢者部計画課計画担当係長)
テーマ 「ケアリビングの必要性和東京都の施策について」

- 6月
- 2日 戦後社会運動史研究会
報告者 増島宏氏(法政大学名誉教授)
テーマ 「『前衛』創刊の経緯と内容」
ILO駐日事務所(早川征一郎)
- 10日 国際交流特別研究会
報告者 アンドリュー・ゴードン教授
(ハーバード大学歴史学部教授・
ライシャワー日本研究所所長)
テーマ 「生産者・消費者・ジェンダ
ー・ミシン」
- 11日 戦後労働運動研究会発足(責任者:早川征
一郎,7人)
- 12日 一橋大学社会政策研究室(相田利雄,早川
征一郎)
経済資料協議会総会(於:東北学院大学,
平澤もと子出席)
- 14日 加齢過程における福祉研究会
報告者 飯塚慶子氏(慶應義塾大学SFC
研究所研究員)
テーマ 「日本の高齢者と住居について
考える」
- 16日 (財)法政大学出版局評議員会(早川征一
郎)
- 18日 運営委員会
議題 諸報告
2002年度事業報告書
兼任研究員の公募
共同研究プロジェクト募集期間の延
長について
戦後労働運動研究会の発足
年鑑検討小委員会の委員
客員研究員の承認
他の研究機関との共同のイベントに
ついて
その他
- 19日 野坂米子氏より野坂参三氏所蔵の河上肇博
士直筆の詩「同志野坂を迎えて」を受贈
- 22日 社会政策学会春季企画委員会(早川征一郎)
- 24日 事務会議
ミーティング
- 25日 研究会会議
月例研究会
報告者 横関至
テーマ 「農地制度改革同盟の研究 平
野力三・須永好と三宅正一」
- 30日 博物館学芸員実習生受入れ(~7月11日)
岩下ゆうき氏(東京都立大学文学部史学科)

大原社会問題研究所利用のご案内

- 【利用できる方】
とくに制限はありません。社会・労働問題に関心のある方ならどなたでもご利用できます。
- 【開館時間】
平日 9時30分~16時30分 土曜 9時30分~12時
- 【休館日】
日曜,祝日,年末年始,大学の入学試験日,他に大学の事情により休館することもあります。その都度掲示,ホームページでお知らせします。
- 【複写】
1枚30円(法政大学教職員・学生は1枚10円)
*ていねいコピーは1枚50円
コンピュータからの所蔵データのプリント:10枚ごとに10円 *貴重書・劣化の激しい図書・製本新聞は複写できません。
- 【館外貸出し】
法政大学教職員・学生のみ可
専任教員:10冊 3か月以内
その他教職員・大学院生:5冊 3か月以内
学生:3冊 1週間以内
*戦前資料・原資料・事典類・新着雑誌・整理中の図書資料は貸出しいたしません。
*大学院生・学生は最初に利用登録していただきます。
- 【所蔵資料の出版物への利用】
1点につき3千円です。研究所長宛に内容を明記した「許可願い」を出してください。
*同一内容の場合は2点目以降は千円。
*使用したフィルムは研究所に寄贈してください。
*掲載図書には,当研究所所蔵である旨を明記し,1点を寄贈してください。
- 【展示会等への所蔵資料の特別貸出し】
目的・資料名を明記した「借用願い」を出してください。
- 【非来館サービス】
文献複写 上記料金+送料実費で行います。文書・Fax・メール等でお申し込みください。
図書の郵送貸出し 図書館・研究機関を対象に行います。冊数:3冊以内 期間:1か月以内

大原社会問題研究所雑誌 No.538・539
(2003年9・10月号)
2003年10月25日発行
定価 2,000円(本体1,905円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所
所長 相田利雄
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
電話 042(783)2307

投 稿 募 集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

投 稿 規 定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

論 文 執 筆 要 領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
横書きとする。
タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
日本語の図書・論文の場合
A. 日本語で書かれた図書については、著者名、書名（書名は『 』で囲む）、出版社名、発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「 他 」の方式も可とする。
C. 論文については、執筆者名、論文名（「 」で囲む）、掲載雑誌名（『 』で囲む）、巻号、発行年月日の順に書く。
D. 注の最後は、かならず「。」で止める。
欧文の図書・論文の場合
A. 欧文の図書については、著者名、書名、発行地（あるいは出版社名）、出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

以上